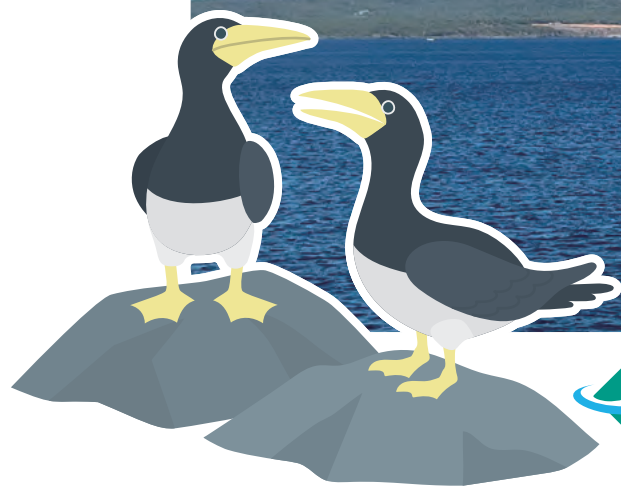
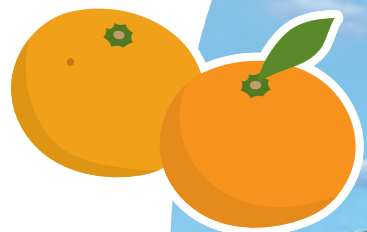




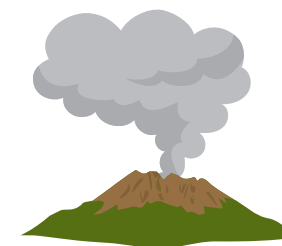
霧島錦江湾国立公園 ストーリーブック

桜島錦江湾奥地域

～国立公園の魅力を高めるために
関係する地域の皆様と共有したいストーリー～



目次		P01
この冊子の使い方		P02
1 地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について		P03
2 霧島錦江湾国立公園概要		P10
霧島錦江湾国立公園地図		P13
3 桜島錦江湾奥地域全体つながり図		P15
桜島錦江湾奥地域ストーリー ①～③		P16
来訪者に望まれる体験		
ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験		
4 日本の国立公園（制度、外国の国立公園との違い）		P33
日本の国立公園地図		P36
5 国立公園のブランドプロミス、 国立公園のストーリーの意義と保全・ 利用への活用について		P37
国立公園のブランドプロミス		P38
国立公園のブランドプロミスと ブランディング活動の関係		P39
6 ジオパークと霧島錦江湾国立公園		P40
ジオパーク地図（霧島 / 桜島錦江湾）		P42

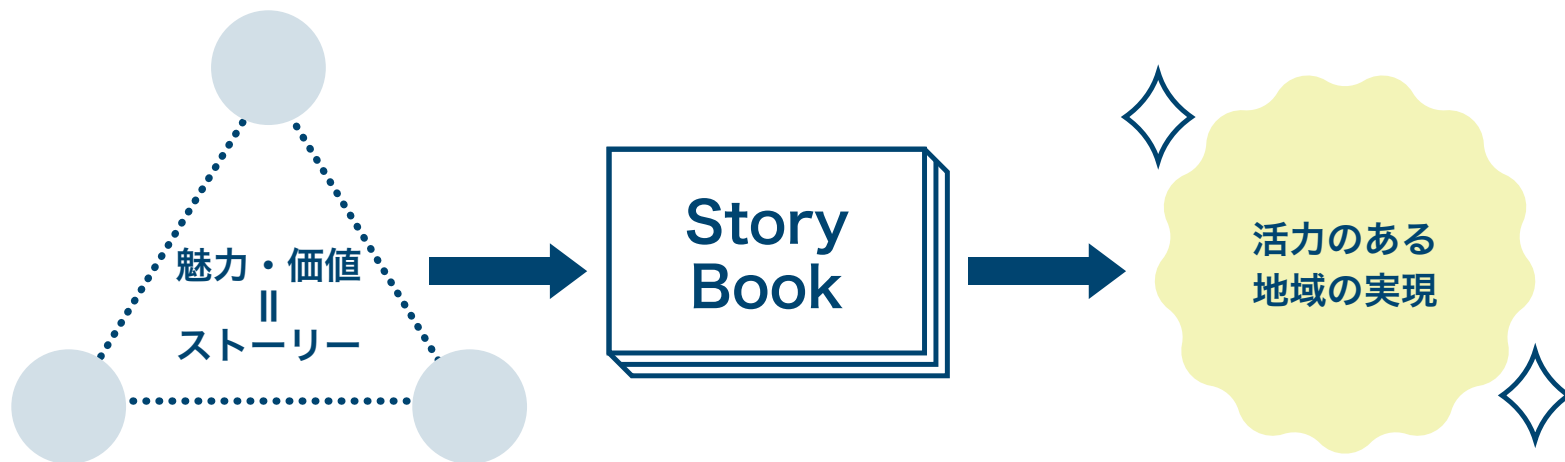


この冊子の使い方

全国に 35 か所（2025 年 3 月現在）ある国立公園は、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景の保護と利用を目的として指定されています。世界でも「国立公園」は多くの人に愛され利用される存在となっており、訪日外国人にとっても魅力的な訪問地として期待されています。

「霧島錦江湾国立公園」は、我が国最初の国立公園の一つであり、自然景観の美しさに加えて、その地域の成り立ち、そこに住む動植物や自然が育んだ土地の文化や歴史などの「ストーリー」が豊かな魅力を引き出しています。国立公園に点在する景勝地や歴史・文化が「ストーリー」として結びつくことにより、国立公園のブランド価値が高まります。そしてそのストーリーを地域の人々が共有し、伝えることにより、来訪者はその価値を実感することができ、地域への愛着も高まると考えられます。

国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。このストーリーをみなさまと共有し、それぞれの立場から発信していただくためにこの 1 冊をまとめました。この冊子があなたにとって「霧島錦江湾国立公園」をより深く知るヒントとなり、地域の魅力や価値を伝える手助けになれば幸いです。

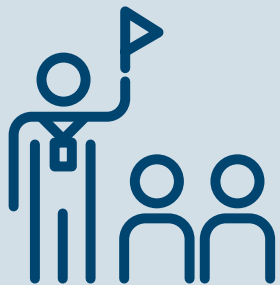


地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について

前述のように国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。それぞれの立場の方が国立公園のストーリーを活用して発信していただくことにより霧島錦江湾国立公園の魅力や価値が、国内外から認識されるとともに活力ある地域の実現につながっていくことが期待されます。

ここでは、その発信方法についての例を示しています。参考にいただき、地域全体で国立公園のストーリーを発信していきましょう。

ガイド・インタープリターのみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園のストーリーに沿った、この地域ならではの体験を提供する際に活用していただきたいと思います。
また地域資源の保全のために、その価値を伝えていただけたらと願っています。

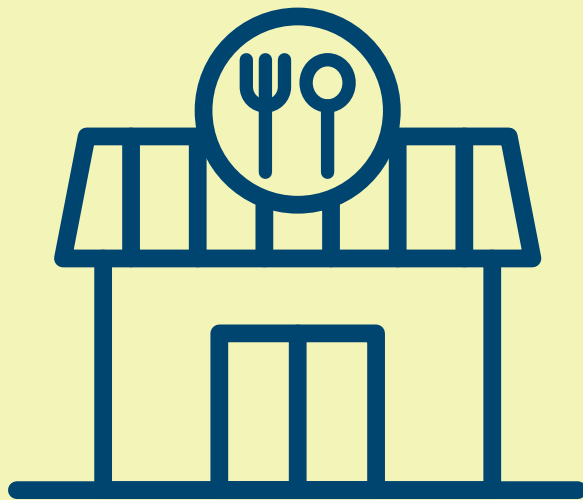
活用例

- ・ガイドで話す内容、展示、パンフレット、ホームページなどに「ストーリー」を盛り込む
- ・ツアーを組み立てる際に「来訪者に望まれる体験」を参考にする

期待される効果

来訪者が地域のストーリーにふれると、ツアーやアクティビティでの体験がこの場所では味わえない特別なものになります。その結果、地域の魅力や価値に気づき、参加者が地域のファンやリピーターになることが期待されます。

飲食店のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園が育んだ独自の食を提供する際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・商品やメニューを考案する際に「ストーリー」を参考にする
- ・従業員の方が食材を説明する際や、店内で食材の紹介をする際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域で育まれた食材や料理をストーリーとともに提供することで、その土地ならではのものを食べたいという来訪者のニーズに応えることにつながり、地域が培ってきた食文化を体験することで来訪者の満足度の向上が期待されます。

宿泊事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・提供する食事のメニューやパンフレット、施設内の装飾に「ストーリー」を活用する
- ・フロント等で観光コースを案内する際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域が培ってきた食文化を体験することが来訪者の満足度の向上につながるだけでなく、地域のストーリーに触れることのできる宿に泊まることで、来訪者の旅行の質が高まることが期待されます。

土産物店のみなさま



訪れた方が霧島錦江湾国立公園のストーリーを持ち帰ることができる商品の参考にしていただきたいと思います。

活用例

- ・商品の開発やパッケージをデザインする際に「ストーリー」を参考にする
- ・お客さんとの会話の参考にする

期待される効果

ストーリーと結びつけられた土産物、特産品を購入することで、来訪者が地域での体験を思い出すきっかけとなり、取り寄せや通信販売などを通しての継続購入につながることが期待されるほか、お土産を送られた知人、友人が新たな来訪者になることも期待されます。

交通事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・機内、車内、船内でのアナウンスの内容に「ストーリー」を活用する
- ・パンフレット等を作成する際に「ストーリー」の参考にする

期待される効果

来訪者が移動中にストーリーにふれることで、これから訪れる地域への期待度を上げ、帰路につく来訪者が地域での体験をふりかえり、思い出す機会を提供することが期待されます。

学校関係者のみなさま



地域の児童、生徒のみなさんが霧島錦江湾国立公園の魅力や価値を再発見するために活用いただきたいと思います。

活用例

- ・総合的な学習や探究学習の時間に「ストーリー」を教材にする
- ・野外学習の訪問先を決める際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域の将来を担う児童、生徒のみなさんが地域のストーリーを知ること、より一層地域に愛着や誇りを持つことが期待されます。

地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について

行政職員・観光協会のみなさま



霧島錦江湾国立公園を様々な形で地域内外に発信する際に活用
いただきたいと思います。

活用例

- ・地域の価値や魅力を紹介する際に「ストーリー」を活用する
- ・資源の保全の方針を作成する際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域内外の方に魅力や価値を理解いただけるだけでなく、各資源
の保全と活用に関する指針となることが期待されます。

KIRISHIMA-KINKOWAN NATIONAL PARK

霧島錦江湾国立公園

国立公園とは？

我が国を代表する優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする。

霧島錦江湾国立公園は、霧島、桜島錦江湾奥、指宿、佐多の各地域に区分される。

霧島地域は、大小 20 以上の火山が連なる山岳地。火山活動に伴って誕生した火口湖、噴気現象、高原、温泉など、変化に富んだ景観が展開し、「火山地形の見本園」とも称される。霧島山は天孫降臨神話の舞台ともされる神秘的な山々でもある。山麓には霧島温泉郷などの温泉地が点在し、同時に良質な水を生み出す。桜島錦江湾奥地域は、現在も噴煙を上げる桜島を中心に、海と火山が織りなす独特の景観を見せ、人々の生活圏は火山と非常に近接している。南に下り、指宿地域に位置する開聞岳は「薩摩富士」とも称される地域のランドマーク。また大隅半島側の本土最南端・佐多岬を含む佐多地域は亜熱帯性植物が多く生育し、南国情緒満点である。

今も噴火活動を繰り返す火山は、「災い」をもたらすだけでなく、多彩な温泉や食文化を育み、人々の暮らしに幾多の恵みをもたらしている。

活きた火山に近接する 大地と海と人のセッション

霧島錦江湾国立公園

指定：昭和 9 年 3 月 16 日

面積：36,624ha（陸域）、37,855ha（海域）

鹿児島県・宮崎県の両県にまたがる

霧島錦江湾国立公園には、現在も噴火を続ける火山や、過去の大規模な噴火によって形成された、巨大なカルデラ群が見られる。これらは九州の東側の海底に沈み込むプレートの活動に起因して形成されたもので、加久藤カルデラ、小林カルデラ、始良カルデラ、阿多カルデラなどが、列をなして南九州地方を南北に並んでいる。

例えば、桜島錦江湾奥地域には始良カルデラの南部に桜島があり、さらにその南側に阿多カルデラが存在している。始良カルデラは現在は内湾となっているが、巨大な火山が噴火して落ち込んだ巨大なカルデラで、我が国屈指の海上カルデラ景観を有する。また、桜島はかつて、名称が示すとおり「島」であった。しかし、大正3（1914）年に起きた大規模な噴火の際、流出した溶岩によって大隅半島と陸続きになった。幕末・明治の時代を生きた西郷隆盛は、現代の私たちが見るのとは異なる、桜島の風景を眺めていたことになる。

大地の姿を幾度となく変化させてきた霧島錦江湾国立公園の火山群。悠久の大地の時間に想いを馳せながら、ダイナミックな地球の活動を目で見て肌で体感できるのも、この地の魅力だ。

桜島と錦江湾



新燃岳噴火



佐多岬



噴煙を上げながら錦江湾にそそり立つ鹿児島県のシンボル、桜島。人口約 60 万人の県都（鹿児島市）の中心街からわずか 4km という目と鼻の先に、噴火を繰り返す活火山が存在し、その桜島には今なお 3,500 人の人々が暮らす。日々、降灰予報などを気にしながら暮らす環境は、世界的に見ても非常に珍しい。

ここでは、多くの住民が火山からの恵みを楽しみながら、農業や漁業、観光産業などで生計を立てている。降灰は農産物の大敵だが、時には特産品も誕生させる。火山灰土壌を好む「桜島大根」はその代表格だ。また、温暖で湿潤な気候は、発酵食品の生産にも適しており、錦江湾に面した霧島市福山（※国立公園外）には、黒酢を発酵・熟成させる壺がズラリと並ぶ「壺畑」の風景が広がる。また、山々に濾過された水が南九州の焼酎文化を支え、良質な茶葉を生み出している。

火山の恵みの最たるものと言えば、各地で湧出する温泉だ。多彩な泉質のいで湯が湧く霧島温泉郷、地熱を利用した「砂むし風呂」を体験できる指宿温泉のほか、幕末の英傑・西郷隆盛や坂本龍馬が入浴を楽しんだ温泉もある。また、個室の温泉施設を少人数で楽しむ「家族風呂」という温泉文化も霧島が発祥地だ。さらに大地からわき出る蒸気熱を利用した「天然蒸気かまど（スメ）」が各家庭に 1 個ずつ備わっている集落もある。

火山と近接した暮らしは、霧島錦江湾国立公園独特の食文化や温泉文化を形成する、大きな要因の 1 つになっている。



黒酢の壺畑



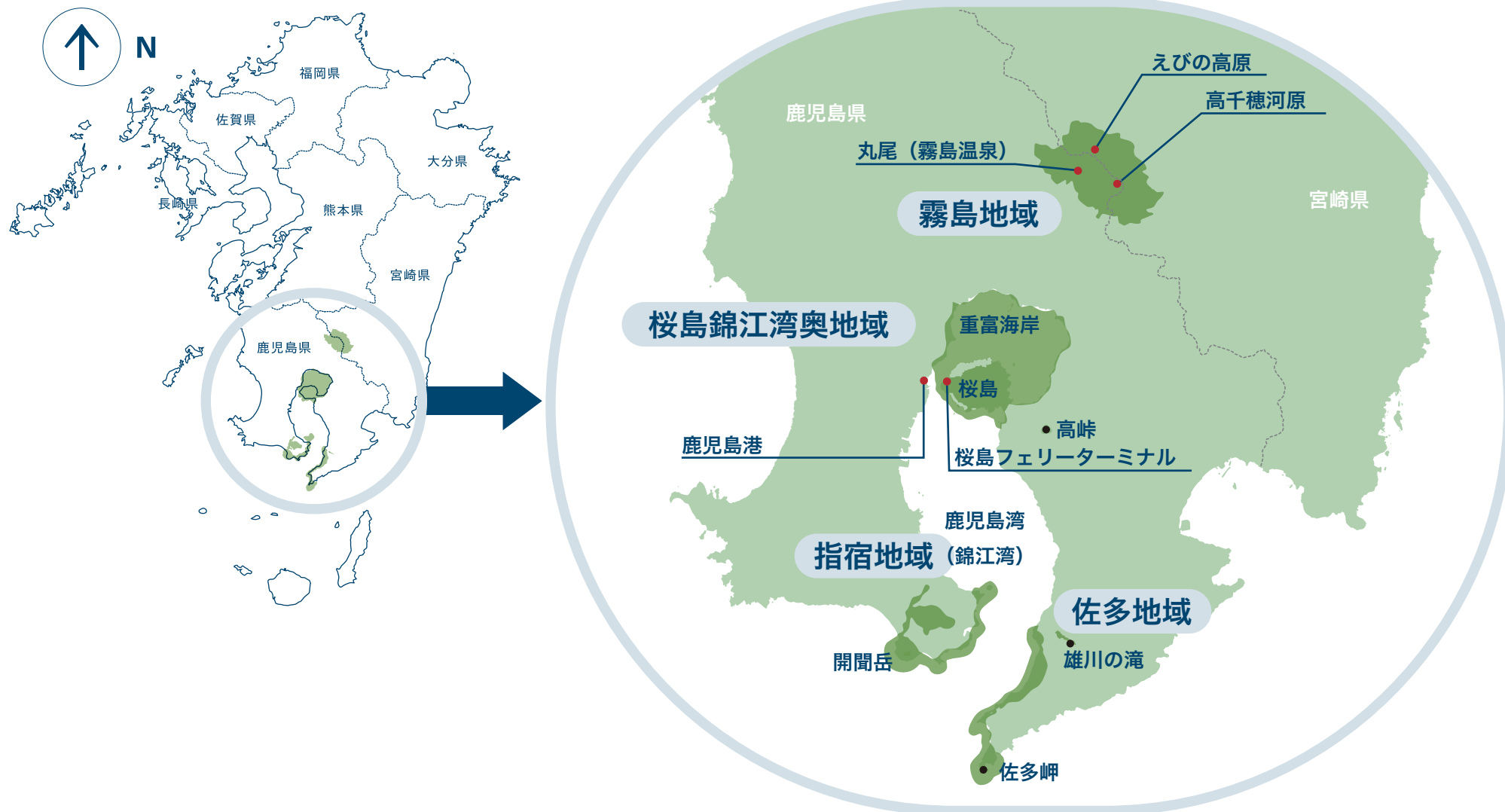
指宿天然砂むし温泉

© K.P.V.B

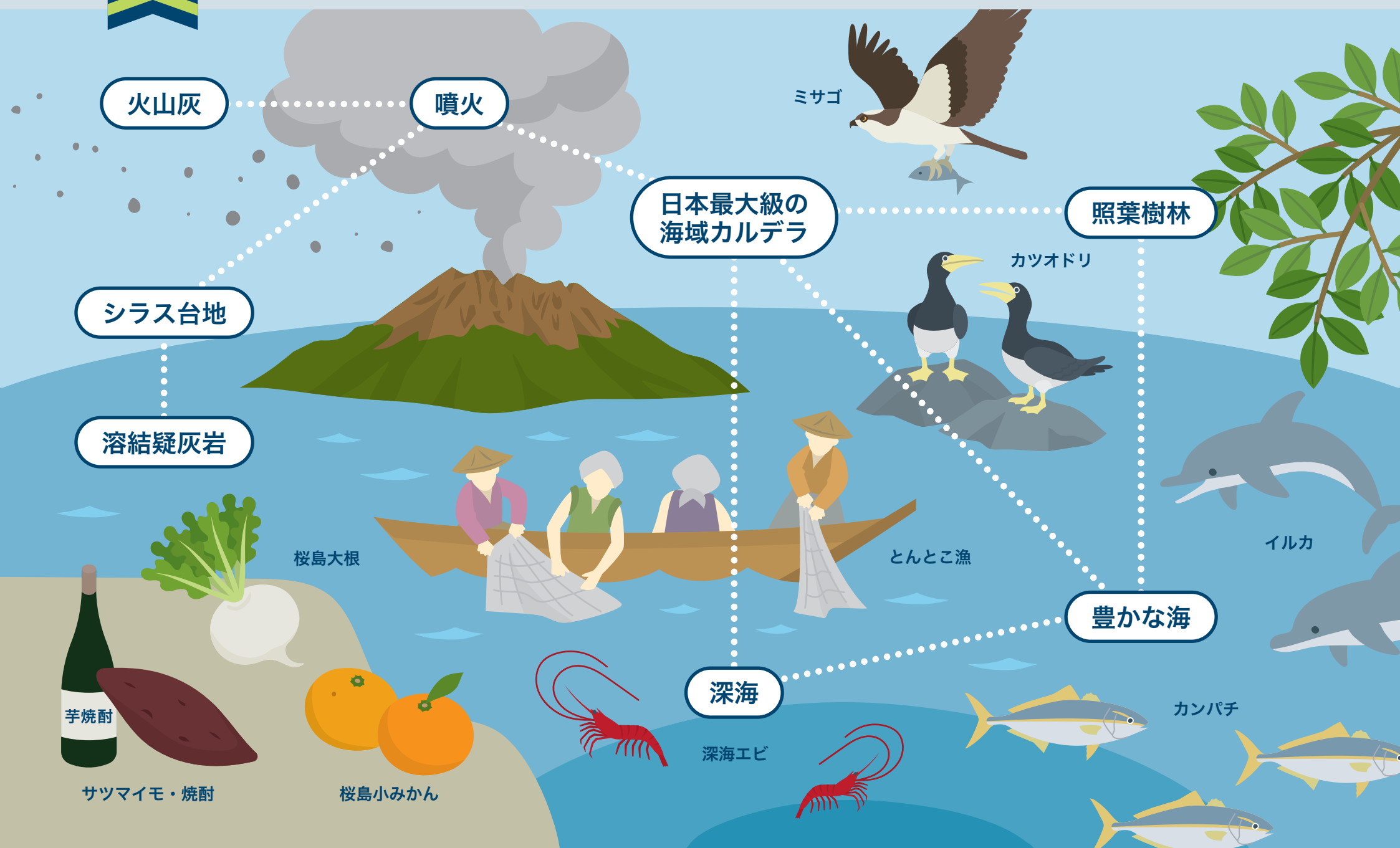


城山展望台からの桜島

世界でも稀有な火山と
人の暮らしの「近さ」







地域の重要性を表す独自の因果関係

太古の巨大噴火が生んだ豊かな海が、
地域の食文化を支えている

着目した地域の重要な資源

多様な海の生態系

ブリ・カンパチ養殖

深海エビ漁

左・桜島と錦江湾
中・カツオドリ
右・カンパチ



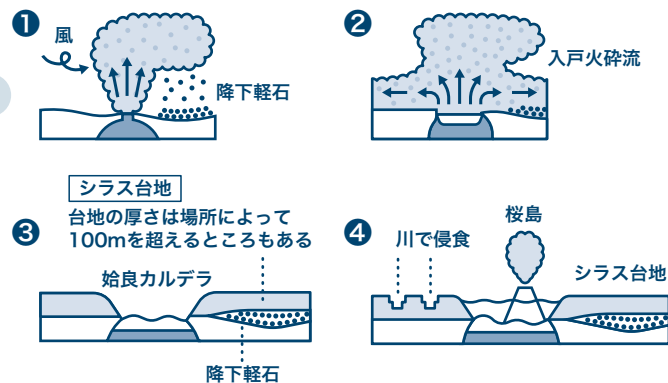
桜島錦江湾奥地域 ストーリー ①

錦江湾の北側（湾奥）は、約 3 万年前の巨大噴火で大地が陥没し、そこに海が入り込んでできた。水深 200m を超える深海、海の中まで続く崖、海藻がつくる海の森、潮の満ち干で姿を変える干潟など、実に多様な海である。錦江湾奥を囲う急な崖は、陥没した大地の外周部分（カルデラ壁）にあたる。この急な崖には照葉樹の森が育ち、森の豊かな栄養分が河川や地下水を通じて錦江湾に注がれている。

多様な海の環境と森からの栄養分などが多くの生きものの生活環境を作りだす。錦江湾には約1000種類もの魚がいるといわれる。だから、多くの魚を食べるイルカやミサゴ、カツオドリなども生きていける。もちろん人も、錦江湾の魚をたくさん食べている。錦江湾は、日本有数の養殖ブリ・カンパチの生産地。穏やかで深い内湾はブリの養殖に適し、冬でも比較的暖かい海水がカンパチの養殖に適している。更に、深海エビ（ナミクダヒゲエビ、ヒメアマエビ）などを獲る「とんとこ漁」は、江戸時代から伝わる漁で、全国でも錦江湾でしか見られない。

火山活動が生み出した豊穡の海が、地域の食文化を支えている。

始良カルデラの噴火



寺山公園展望台から望む
照葉樹林と錦江湾



来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 展望台などから地形を眺め、錦江湾奥部が大地が陥没してできた（カルデラである）ことを実感してほしい → ❶
- カルデラ壁に広がる照葉樹の森などから注ぎ込んだ栄養が錦江湾の豊かさに影響していることに思いをめぐらせてほしい → ❶ ❷
- 干潟や海藻が茂る藻場、サンゴの群生など海の中の環境の多様さを実感してもらいたい → ❷ ❸ ❹
- イルカやミサゴ、カツオドリなど、魚を食べて暮らしている生きものを見つけて、海の豊かさが地域の生態系に影響を与えていることを感じてほしい → ❷ ❸
- 錦江湾でとれるさまざまな魚介類を味わって、錦江湾の深海の深さ、海の豊かさを体感してもらいたい → ❸

桜島錦江湾奥地域 ストーリー①を实感できる、おすすめの場所・体験

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

寺山公園展望台から海と森を眺める



展望台からは、海を囲むカルデラ壁を見渡すことができ、錦江湾奥部が大地が陥没してできたことがわかります。また照葉樹林や干潟、錦江湾に流れ込む川などを一望でき、これらが豊かな海をつくっていることを実感できます。

2

重富海岸の干潟の生きものの観察をする



専門ガイドと一緒に干潟にすむ生きものの観察を通して、錦江湾の多様な環境や、生きものの豊かさ、自然と人とのつながりなどの一端を垣間見ることができます。

桜島錦江湾奥地域 ストーリー①を实感できる、おすすめの場所・体験

3

深海エビ、カンパチやブリを味わう



鹿児島大学水産学部教授 大富潤

周辺地域では、地域の素材にこだわった地元の寿司屋や居酒屋、食堂で錦江湾で獲れた魚介類を味わうことができます。

4

桜島でシーカヤック体験に参加する



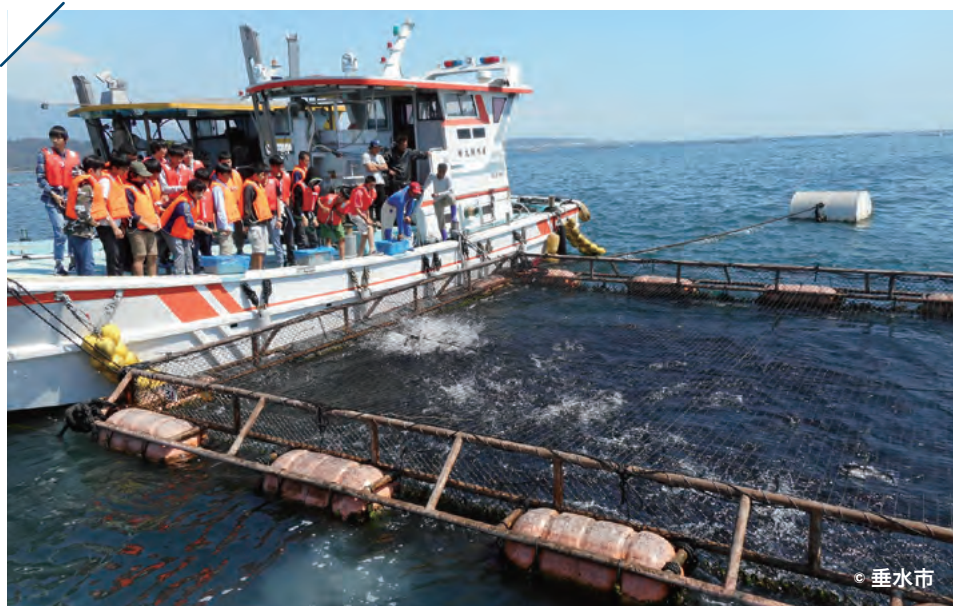
© かごしまカヤックス

シーカヤックで海に出ると、海中まで流れ出た溶岩や珊瑚、海中から湧き出る温泉など、火山地帯特有の景色を見ることができます。運がよければ野生のイルカを見ることがもできます。

桜島錦江湾奥地域 ストーリー①を实感できる、おすすめの場所・体験

5

錦江湾で養殖カンパチの餌やり体験に参加する



垂水市漁協で漁船に乗って錦江湾沖に浮かぶカンパチ養殖場で餌やりを体験できます。魚の加工体験やカンパチの料理づくりの体験も可能です。

6

水族館で海の生きものを見る



錦江湾を中心に鹿児島県本土周辺の海にくらす生きものを見ることができます。また、サンゴや海藻の豊かな海底、そこに暮らす生きものなども展示されています。



地域の重要性を表す独自の因果関係

火山性土壌の土地が、 地域ならではの食と文化を育んだ

着目した地域の重要な資源

シラス台地

芋焼酎

左．桜島小みかん
中．桜島大根
右．芋焼酎



© 鹿児島市



桜島錦江湾奥地域 ストーリー ②

桜島は活火山であり、農業などできないように思えるが、世界最大の桜島大根や、世界最小といわれる桜島小みかんは、日々噴火する桜島の麓で生産されている。過去の土石流で運ばれた土砂が、山の裾野になだらかな扇状の地形を形成した。この「扇状地」は日当たりや水はけも良く、大根や小みかん、びわ等の栽培に適していた。このように、火山だからこそ生み出された特産品がある。

芋焼酎も、火山が生み出した特産品と言える。錦江湾を作り出した巨大噴火は、膨大な軽石や火山灰などを噴出し、これらが火砕流となって南九州一帯に広がった。この火砕流が地上を覆い、場所によっては100m 以上も堆積したという。その後、川の水が土を削り、現在の南九州に広がる「シラス台地」が形成された。このシラス台地は、水はけが良い。だからこそ、水はけの良い土地でも良く育つサツマイモの栽培が盛んとなった。その生産量は鹿児島が全国 No.1である。そして、シラス台地に降った雨は、地下でろ過されて美味しい水になる。

豊富なサツマイモと美味しい水は、暖かく、日本酒づくりには向かなかった気候と相まって南九州の焼酎文化に繋がった。現在の焼酎造りに欠かせない黒麹や白麹も鹿児島で開発されたといわれ、薩摩の芋焼酎は全国に広まった。火山のせいで稲作等が難しくなった一方で、火山のおかげで芋焼酎が生まれたと言える。



仙巖園から見た
噴煙を上げる桜島

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 湯之平展望台から桜島の北岳側の裾野に広がるなだらかな扇状の地形を見てほしい
できたら、南岳側の溶岩の多さと比較して火口ができた年代の違いを実感してほしい
- 日当たりと水はけの良い地形が育てた桜島大根、桜島小みかんを食べて、火山からの恵
みを感じてほしい → ❶ ❷
- 様々な銘柄の芋焼酎を味わったり、酒蔵を訪れて、焼酎づくりに触れることで、火山の
恵みと人々の生活・文化を感じてほしい → ❸

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

桜島大根を食べる



地域の土産物店で、漬物などの加工品を購入できます。冬の収穫時期には道の駅で穫れたばかりの桜島大根を購入することもできます。煮物にすると舌触りのなめらかさを感じることができます。

2

桜島小みかんを収穫したり、購入して味わう



桜島の裾野の果樹園で収穫体験ができるほか、沿道の無人販売所や道の駅で購入し、味わうことができます。

3

酒蔵を見学し、焼酎の歴史を知る



公園内や周辺地域に点在する酒蔵では、芋焼酎の製造工程や歴史が学べます。併設された売店では、お土産として芋焼酎の購入ができます。



地域の重要性を表す独自の因果関係

活発な火山活動のすぐそばにある日常が、
地域特有の工夫と暮らしをもたらした

着目した地域の重要な資源

日常的な噴火と降灰と、それに順応した暮らし

左．黒神埋没鳥居
中．克灰袋
右．桜島フェリー



© 鹿児島市



桜島錦江湾奥地域 ストーリー ③

桜島は、北岳と南岳が合体してできた複合火山で、過去に大噴火を繰り返している。直近の大噴火は 110 年前の大正噴火で、この時流出した溶岩は桜島南東の海峡を埋め、桜島は大隅半島と陸続きになった。また、火山灰や軽石により一日で 2m も埋まった埋没鳥居が、噴火の記憶として今もそのまま残されている。

現在は南岳の活動が活発で、2023 年は 200 回以上の噴火が記録されている。そんな活発な火山である桜島には、現在も約 3500 人が暮らしており、島のあちこちに退避壕がある。また、桜島と鹿児島市街地の距離はわずか数kmという近さである。数十万人が暮らす大都市の目の前で毎日のように噴火し、噴煙が上がり、灰が降る。こうした日常が、独特の暮らしを生み出している。

例えば、天気予報では桜島上空の風向き等による降灰予測が報じられる。各家庭には灰を集めるための「克灰袋」が無料で配られる。お墓には降灰を防ぐための屋根がある。ロードスweeperという清掃車が灰を収集しながら走る。などなど、ふだんの生活の中に、活発な火山と共生するための工夫や努力が詰まっていることがわかる。

大変そうだと思われたかもしれないが、鹿児島の人々はこうした暮らしを、「普通のこと」として受入れている。それに、鹿児島市内の大衆浴場のほとんどが温泉であるなど、日常的に火山の恵みも受けながら暮らしている。そして、“桜島を見ると安心する”という人がいるほど、日々噴煙を上げる桜島は、ここで暮らす人々にとって故郷のシンボルとして親しまれている。



城山展望台から望む
都市と桜島

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 埋没鳥居を訪れ、たった1日の間に噴火によって吹き出された火山灰や軽石の多さを実感してほしい → ②
- 桜島山頂から立ち上る噴煙や水蒸気を見て、活発な火山活動を間近で実感してほしい
→ ① ③ ④ ⑥
- 降灰予報や克灰袋、桜島の退避壕とお墓の降灰を防ぐための屋根を見て、活発な火山と共生する人々の生活を間近に感じ取ってほしい
- 大衆浴場を訪れ、温泉で身体をあたためつつ火山活動の恵みを実感してほしい → ⑤

桜島錦江湾奥地域 ストーリー③を実感できる、おすすめの場所・体験

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

桜島でガイドツアーに参加する



桜島・錦江湾ジオパークで活躍するジオガイドなどの案内で、桜島の火山活動や過去の災害、桜島でのくらしの工夫などを聞き、火山とともにある桜島の姿を目の当たりにすることができます。

2

埋没鳥居を訪れる（黒神、牛根麓）



現在も埋没した鳥居がそのままの状態で保存されていて、1日の間に巨大噴火によって吹き出された火山灰や軽石の多さを体感できます。鳥居の横には当時の写真などが展示され、大正噴火の様子を知ることができます。

桜島錦江湾奥地域 ストーリー③を実感できる、おすすめの場所・体験

3

桜島フェリーから桜島を眺める



© 鹿児島市

島外への避難手段を担っています。海上からは海まで流れた溶岩も見ることができるほか、市街地と活動している火山の近さを実感できます。

4

城山展望台から都市と桜島と眺める



©ken.n.miffy.752

城山公園展望台（※国立公園外）からは市街地と桜島両方を望むことができ、数十万人が暮らす都市と活動している火山が隣接していることがわかります。

5

桜島溶岩なぎさ公園の足湯につかる



© 鹿児島市

地下 1,000m より湧出する天然温泉から火山の熱を感じることができます。

また、鹿児島市内に点在する公衆浴場のほとんどで温泉に入ることができます、火山のめぐみを実感できます。

6

湯之平展望所から桜島を見る



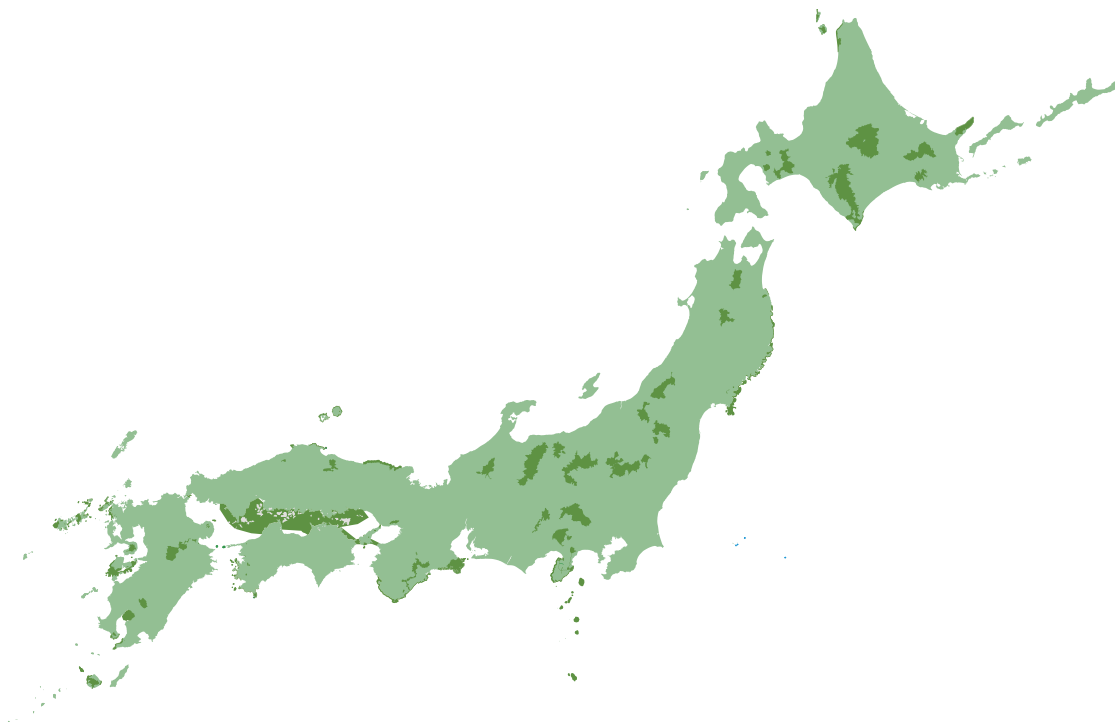
© 鹿児島市

桜島の中で最も山頂に近い展望所からは山肌を間近に見ることができます、北岳と南岳の浸食の度合いを見比べることができます。

個性豊かな 35 の国立公園

※2025 年 3 月現在

北から南まで、約 3,000 キロメートルに伸びる日本列島には、雪をかぶった山々から色とりどりの珊瑚礁まで、さまざまな自然の風景が広がっています。約 7 千種の植物、1 千種を超える動物、7～10 万種もの昆虫類などが生育・生息しています。また、豊かな水や活発な火山の恵み、手つかずの自然だけではなく、人の手が入ることによって多様な生態系と自然環境が保たれている里海、里山など、人と自然が共生する場所もあるのが日本の国立公園の特徴です。



国立公園 90 年の歴史

国立公園は、世界の多くの国で設けられていますが、世界で初めての国立公園として、アメリカのイエローストーン国立公園が 1872 年に指定されました。日本では明治 44 年（1911 年）に「日光を帝國公園となす請願」が議会で提出され、その後多くの人々の要望が高まって昭和 6 年（1931 年）に国立公園法が制定され、それに基づいて昭和 9 年（1934 年）3 月 16 日に瀬戸内海、雲仙、霧島の 3 箇所が日本初の国立公園に指定されました。

その後、昭和 32 年（1957 年）には国立公園法が全面的に改定されて自然公園法が制定され、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園といった現在の自然公園体系が確立されました。日本の素晴らしい風景の保護と適正な利用の増進のために様々な制度や仕組みを整えながら、きめ細かな管理ができるようにして、現在に至っています。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで国立公園は 35 箇所（令和 7 年 3 月現在）になり、毎年多くの人が利用しています。

日本の国立公園制度

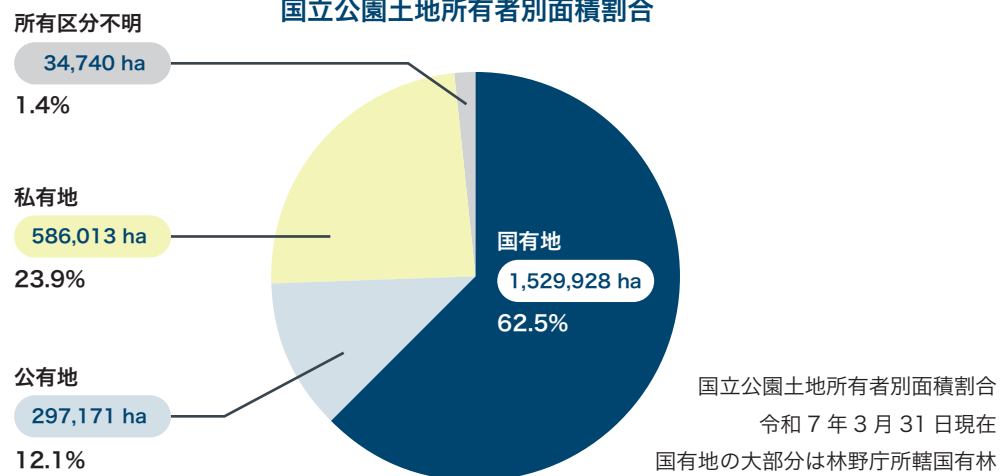
世界の多くの国の国立公園では、その先駆けである米国のように、壮大な自然を全て国有地として、ほぼ手つかずの自然を守る制度となっています。これを「営造物（えいぞうぶつ）公園」といいます。日本の国立公園の区域は土地の所有にかかわらず設定され、人が暮らす場所も少なくありません。優れた景観を守るため開発は制限されています。こうした形の制度を「地域制（ちいきせい）公園」といいます。外国人の方の多くは、日本の国立公園に人が住んでいるのを見て驚くかもしれません。しかし、人々が自然と共に作ってきた農村・漁村の暮らしは、自然と深いつながりを持っています。

また、国立公園は、自然についての知識を深め、健康やレクリエーションのために自然と触れ合う場として利用されています。

国立公園は全国に 35 個

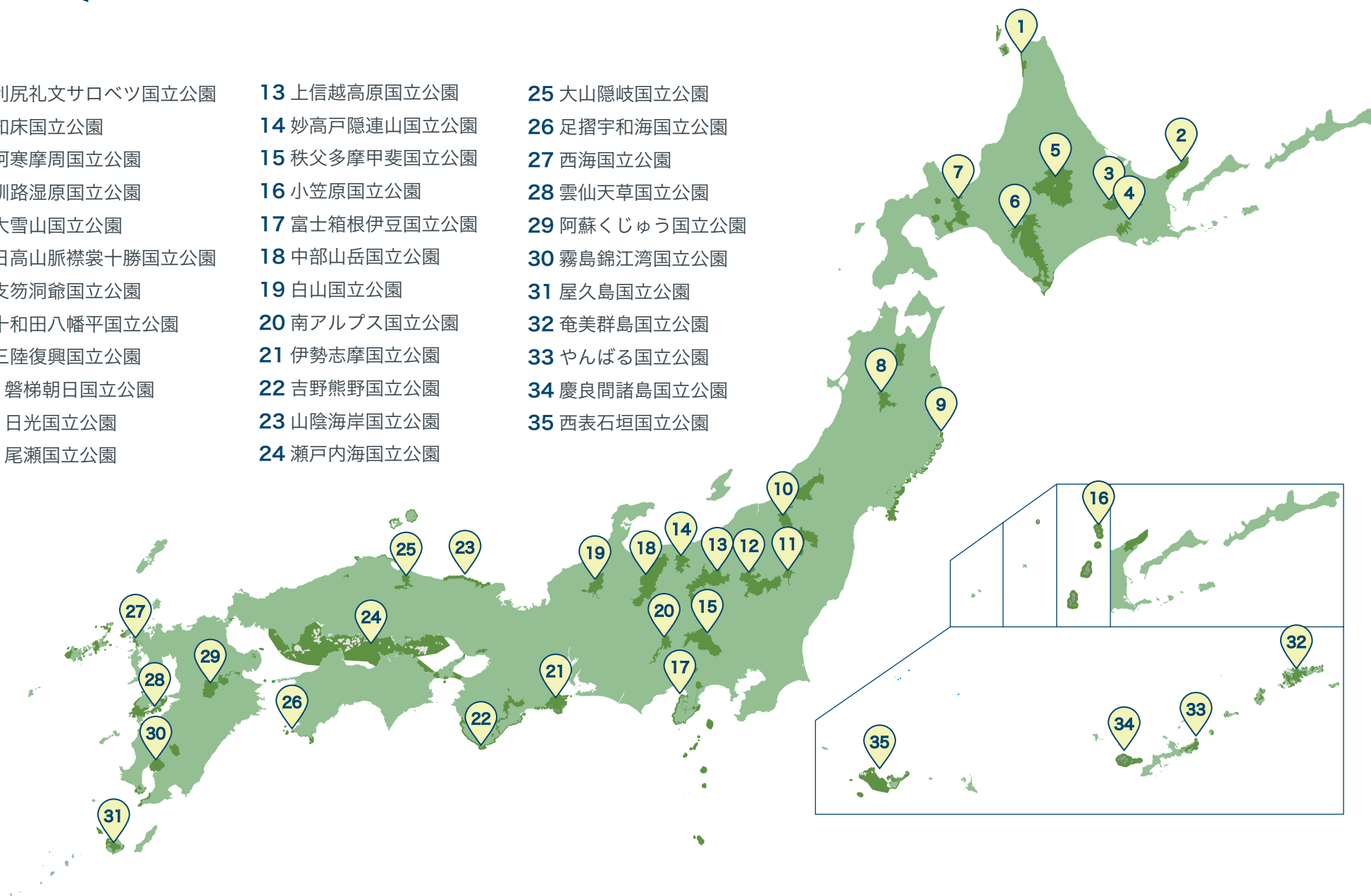
日本の国立公園は、土地の所有に関わらず指定を行う「地域制自然公園制度」を採用しており、多くの私有地も含んでいます。

国立公園土地所有者別面積割合



環境省 HP より引用 <https://www.env.go.jp/nature/nationalparks/about/>

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1 利尻礼文サロベツ国立公園 | 13 上信越高原国立公園 | 25 大山隠岐国立公園 |
| 2 知床国立公園 | 14 妙高戸隠連山国立公園 | 26 足摺宇和海国立公園 |
| 3 阿寒摩周国立公園 | 15 秩父多摩甲斐国立公園 | 27 西海国立公園 |
| 4 釧路湿原国立公園 | 16 小笠原国立公園 | 28 雲仙天草国立公園 |
| 5 大雪山国立公園 | 17 富士箱根伊豆国立公園 | 29 阿蘇くじゅう国立公園 |
| 6 日高山脈襟裳十勝国立公園 | 18 中部山岳国立公園 | 30 霧島錦江湾国立公園 |
| 7 支笏洞爺国立公園 | 19 白山国立公園 | 31 屋久島国立公園 |
| 8 十和田八幡平国立公園 | 20 南アルプス国立公園 | 32 奄美群島国立公園 |
| 9 三陸復興国立公園 | 21 伊勢志摩国立公園 | 33 やんばる国立公園 |
| 10 磐梯朝日国立公園 | 22 吉野熊野国立公園 | 34 慶良間諸島国立公園 |
| 11 日光国立公園 | 23 山陰海岸国立公園 | 35 西表石垣国立公園 |
| 12 尾瀬国立公園 | 24 瀬戸内海国立公園 | |



国立公園のブランドプロミスの設定について

背景・趣旨

2016 年に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、「国立公園満喫プロジェクト」が進められてきた。先行 8 公園において集中的に実施してきたが、2021 年以降は、利用面での施策を強化した改正自然公園法 (2022 年 4 月施行) の運用も含め、全 35 公園への水平展開を進めている。

その中で、国立公園のブランディングを強化するため、「国立公園のブランドプロミス」として、国立公園が来訪者・地域に約束することを、2023 年に国立公園のブランディング「全ての国立公園の共通の管理運営指針」として定められ、国立公園の管理運営に関わる関係者が共通の理解を持つこととされている。

合わせて、「国立公園のブランディング活動」として、「ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省と地域・関係者が一緒に取り組むこと」が全ての国立公園で共通の項目として、国立公園の管理運営に関わる関係者が連携して取り組むものとして定められた。

ブランドメッセージ

「その自然には物語がある」

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス（国立公園が来訪者・地域に約束すること）



1

感動的な自然風景
美しい自然風景



© 始良市

4

感動体験を支える
施設とサービス

2

サステナビリティへの
共感

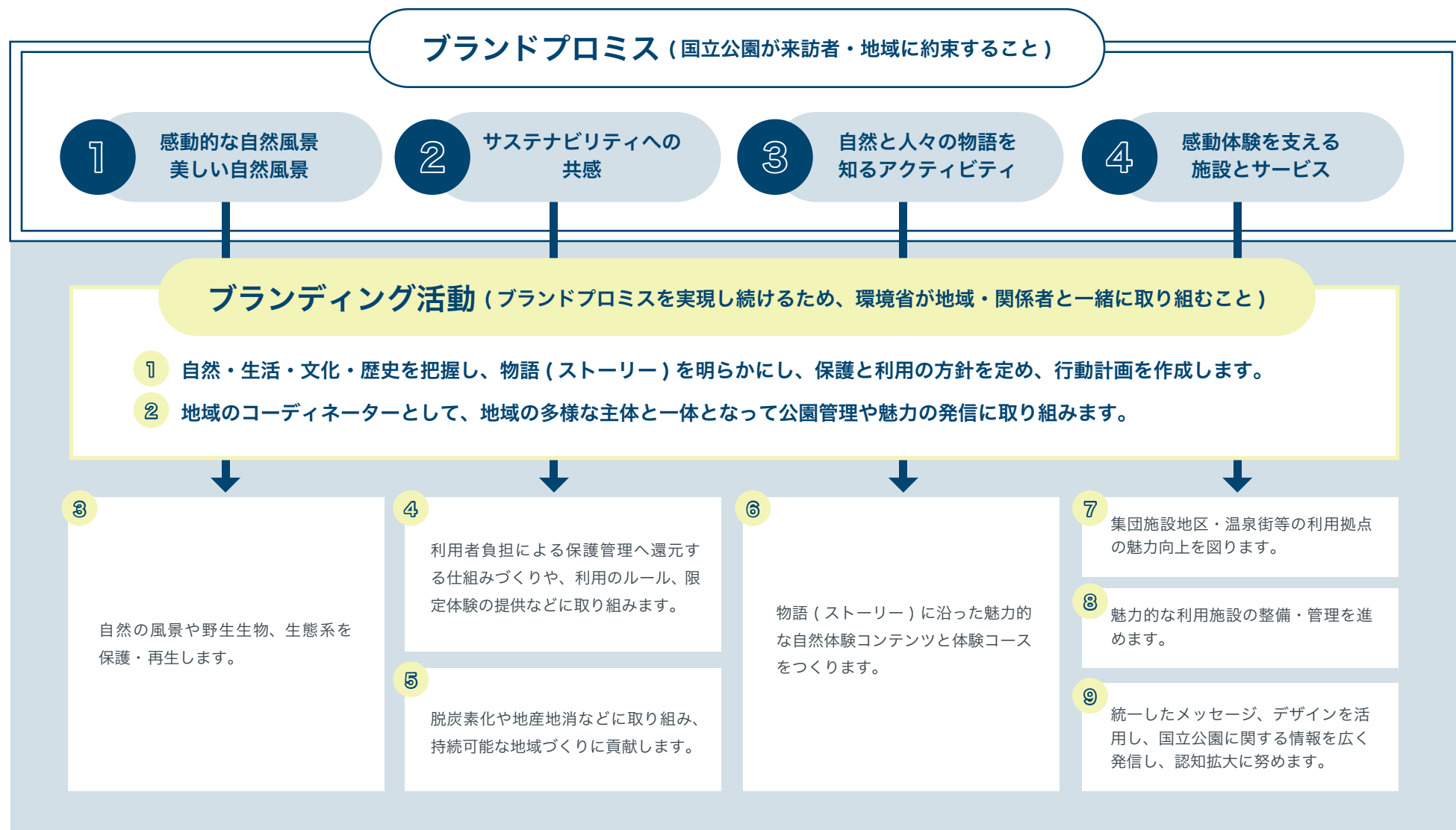


3

自然と人々の物語を
知るアクティビティ



© かごしまカヤックス



ジオパークの基本理念

ジオパークは、科学的に貴重な地質や景観などの「地質遺産 (Geological Heritage)」を保護するとともに、教育、ツーリズムなどの推進に活用し、地域の持続可能な開発に寄与することを目的としています。

ジオパークは、主として地形・地質を対象とするものですが、地形・地質はその場所の生態系に大きな影響を与え、またそこで生活する人々の生活様式や文化にも影響します。このため、ジオパークでは、生態系や地域の生活・文化や歴史なども活動の対象としています。

2015 年 11 月に開催された第 38 回ユネスコ総会において、世界ジオパークが、「国際地質科学ジオパーク計画 (International Geoscience and Geoparks Program)」の UNESCO Global Geoparks としてユネスコの正式事業となりました。

国立公園とジオパークの様々な連携

国立公園とジオパークは、多くの地域でエリアが重複しています。「保護」「施設整備」「教育・普及」「プログラム開発」「人材育成」等、国立公園はジオパークと連携し、様々な取り組みを行っています。

国立公園とジオパークの連携により、新たな地域の魅力を発見する！

日本には多種多様な自然が存在しています。その国立公園の優れた自然の風景や自然に根差した文化は、観光資源としてとても魅力的で、訪日外国人の関心も高いものです。それらの魅力あふれる自然資源を活かし、国立公園とジオパークの連携を図ることで、エコツーリズムや環境教育などを発展充実させ、地域の活性化を行っていきます。

桜島・錦江湾ジオパーク

桜島・錦江湾ジオパークは、約3万年前の始良カルデラ形成によりできた海「錦江湾」と約2万6000年前に誕生し今も活発に噴火を続ける活火山「桜島」が特徴で、桜島をはじめとする火山活動が、地形・地質や自然、歴史、文化、産業、人々の暮らしに大きな影響を与えていることから、「火山と人と自然のつながり」をテーマとしています。

噴煙を上げ続ける活火山を日常としながら、充実した防災対策を講じる中で、多くの人々が生活を持続発展してきたという世界的に稀有な「活火山との共生」が実現しています。



【監修者】

福島 大輔（特定非営利活動法人 桜島ミュージアム理事長）

浜本 麦（特定非営利活動法人 くすの木自然館代表理事）

大富 潤（鹿児島大学水産学部教授）

和田 直之（シナジーマーケティング株式会社）

【写真提供者】

霧島ジオパーク推進連絡協議会（撮影：永友武治）

大富 潤（鹿児島大学水産学部教授）

鹿児島市

始良市

垂水市

公益社団法人 鹿児島県観光連盟（K.P.V.B）

ken.n.miffy.752（鹿児島県観光サイト提供写真）

かごしまカヤックス

ねじめ漁業協同組合

【発行】

2025 年 8 月

【請負業者】

株式会社 自然教育研究センター

斯文堂株式会社

【発行者】

環境省九州地方環境事務所

霧島錦江湾国立公園管理事務所